

Aquirex ポアーステイン

仕 様 書

Wiping Off Stain | 101

和信化学工業株式会社

年 月 日

Aquirex ポアーステイン

Wiping Off Stain | 101

Aquirex ポアーステインは、木の風合いを活かす、水性顔料着色剤です。屋内木部を鮮やかに着色し、塗装後にウエスで拭き上げると木目がより美しく、仕上がる着色剤です。透明性の高い顔料を使用しているため木目をキレイに活かし、耐光性抜群の仕上がりが得られます。色数は全 14 色で、水での希釈でお好みの濃さに調整ができ、各色との混ぜ合わせにより自由な色調を表現することが出来ます。導管の深い木材や吸い込みムラの出やすい木材には、専用着色ベースのポアーステインメイクアップベースを混入することで美しく仕上げる事が出来ます。

§ ラインナップ

チェスナット	マホガニーブラウン	オーク
オリーブ	ブラックオリーブ	ブラック
ホワイト	ディープブルー	エメラルドグリーン
グラスグリーン	ワインレッド	チェリーレッド
ゴールデンエロー	サンオレンジ	

(着色ベース メイクアップベース)

§ ホルムアルデヒド放散等級

F (日本塗料工業会登録 W01079)

§ 特長

水性タイプの為、火気の心配がありません。

臭気が少なく作業中でも気になりません。

厚生労働省指定の毒物・劇物、消防法の危険物に該当しません。

(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)

水で希釈する事でお好みの濃さが選べます。

透明性の高い微粒子顔料の使用で、木目を活かした鮮明な着色が可能です。

国土交通省「改正建築基準法」	適合
厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」	適合
文部科学省「学校環境衛生基準」	適合
東京都環境局「子どもガイドライン」	適合

§ 用途

床、階段、手摺り、内壁、内装ドア、ドア枠、廻り縁、巾木、カウンター、収納扉などのあらゆる内装木部や天板などの家具への着色剤

§ 使用方法

色の濃さはお好みによって水の希釈量で調整して下さい。

水希釈量目安：ポアーステイン/水 = 100/100 を1つの基準としてお試し下さい。

各色の色調は、別紙カタログのカラーサンプルをご参照下さい。

メークアップベースを使用する場合は、お好みの色に調合したポアーステインに
上限 20% (重量比)までを添加後、よく攪拌して下さい。

本品は、着色剤でありますので、上塗塗料を塗装することをお薦めします。

上塗塗料には、
Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ
Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ・2液タイプ
Aquirex フロア クリヤー
Aquirex フロア クリヤー・2液タイプ があります。

【木地着色】

水で希釈しお好みの濃さに調整し、塗布します。(色を混ぜることも可能)

塗布後すぐにウエスなどで拭き上げることで、均一な着色の仕上がりになります。

更に、ナラ材のような導管の深い木材や吸い込みムラの出やすい木材を着色する
場合には、専用着色ベースの「ポアーステイン メークアップベース」をお使い下さい。

メークアップベースをお使いになる場合も必ずウエスで拭き上げて下さい。

目ハジキが無く、均一に着色が出来ます。

< 注意点 >

着色剤を拭き取る際には、小さな円を描きながら擦り込むように拭き取ると導管に入り
やすくなります。拭き取る際には、塗布後すばやく拭き取り、拭き残しのないように色ムラ
の原因となりますのでご注意下さい。

【カラークリヤー】

Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤにお好みの濃さで色を混ぜて塗装が出来ます。

刷毛で塗装する場合には、色が濃いと刷毛ムラが出やすくなりますので、
ご注意下さい。

カラークリヤーでご使用時のポアーステイン添加量の目安

ポアーステインを 5%以下

§ 乾燥性目安

標準塗布量 60g/m² 原液:水 = 100:100
(塗布後すぐにウエス等で拭き取り)

乾燥時間 1時間 気温 20

条件(気温や湿度、素材)によって乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

§ 各種塗料の密着性

ポアーステインは必ず、拭き取りを行う

着色 各種塗料	Aquirex ポアーステイン 各色	Aquirex ポアーステイン メイクアップベース使用
Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ	○	○
Aquirex フロア クリヤー	○	○
Aquirex ウッドシーラー	○	○
Aquirex サンディング	○	○
Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ・2液タイプ	○	○
Aquirex フロア クリヤー・2液タイプ	○	○
ワシン エコフロア 各ツヤ	○	○
Non-TX ラッカー 各ツヤ	○	○
Non-TX ウレタン 各ツヤ	○	○

これは実験室におけるデータであり、実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件で変わることがありますので参考として頂き、事前のチェックをお薦めします。

< 注意点 >

ポアーステイン 各色の拭き取り無しでの使用は上塗塗料との密着不良の原因となりますので避けて下さい。

§ 塗装工程(例)

1. 素地着色(例) (素材:シナ材 濃色又は、木地感を活かした仕上げ)

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備考
素地調整	#150 サンドペーパー			
着色	Aquirex ポアーステイン 各色 100 水 100	60g/m ²		刷毛
拭き取り	塗装後すぐにウエスで拭き取り		1時間	
下塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ	80 ~ 100g/m ²	2 ~ 4 時間	刷毛
研磨	#320 サンドペーパー			
上塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ	80 ~ 100g/m ²	4 時間以上	刷毛

条件によって塗布量は変わりますので、目安として下さい。

また、その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

2. 導管の深い素材への着色(例) (素材:ナラ材 導管の大きい木材に着色)

工 程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備 考
素地調整	#150 サンドペーパー			
着 色	Aquirex ポアーステイン 各色 50 水 50 Aquirex ポアーステイン メークアップベース 20	60g/m ²		刷毛
拭き取り	塗装後すぐにウエスで拭き取り		1時間	
下塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ	80～100g/m ²	2～4時間	刷毛
研 磨	#320 サンドペーパー			
上塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ	80～100g/m ²	4時間以上	刷毛

条件によって塗布量は変わりますので、目安として下さい。
また、その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

3. カラークリアー塗装(例)

工 程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備 考
素地調整	#150 サンドペーパー			
下塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ 100 Aquirex ポアーステイン 各色 5	100g/m ²	2～4時間	刷毛
研 磨	#320 サンドペーパー			
上塗り	Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ 100 Aquirex ポアーステイン 各色 5	100g/m ²	4時間以上	刷毛

条件によって塗布量は変わりますので、目安として下さい。
また、その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

§ 使用上の注意

使用前には必ず容器を良く振って中身を均一にしてからご使用下さい。

木材は種類によって発色が変わります。また、同じ種類でも吸い込み方で発色が変わりますので、必ず試し塗りを行って下さい。

ヤニやアク等樹液成分を多く含む木材や防腐処理、不燃処理など特殊加工された木材へ本品(特にホワイト色、淡彩色系)を塗装する場合、樹液成分の染み出しや加工に使われた薬剤などが原因で塗膜が変色する場合がありますので必ず試し塗りを行って下さい。

5 以下での塗装や、多湿時の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが悪くなり、求める塗膜性能が出にくくなる場合がありますので、避けて下さい。

本品は水性塗料でありますので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けて保管して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗って下さい。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。また、上塗塗料の養生時にはゴミの付着に注意して下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具などを着用して下さい。皮膚などに付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外見に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。